



「別れの時」

「まごころ」に「ま」をつけた
みんなが三年間読み続けた
学年通信の題名「まごころ」
「まごころ」の「ま」の意味を
調べてみたところ
偽りのない
ほんとう
純粹
立派な
美しいという意味があった
どの意味もみな人として
持ち合わせたもの
三年間一緒に生きる先生方は
そこからスタートする
初々しいみんなに
きっとこうなって欲しいという
願いを込めたのが
「まごころ」だったのではない
か
三年間という長い時間をかけ
少しずつ一歩ずつ
その願いに近づきながら
試行錯誤して一緒に歩んできた
毎日の学校生活を通して
通信の言葉を通して
先生方の後姿を通して
教師のそんな願いを
どうかみんなに届けと
強い願いを込めて
三年という時間が流れた時
そんな心優しい
人になっていくれたらと
強い願いを込めて
そんな姿をずっと見守ってきた
私たちの別れの時
ずっと今まで一緒だった
友との別れの時
別れの時がやがてくる
片手で教えられるそんな時間を
私たちはみなかみ締めている

